

7. 麻生キッチンりあん

(札幌市北区・麻生商店街振興組合等)

～ 藤女子大学生等とのコラボレーションによる学習支援・食育活動の展開 ～

■ 麻生商店街は市電、地下鉄とともに発展

昭和38年に麻生町まで市電が延長され、その後、地下鉄が繋がり、大型店の出店などもあって、昭和48年に麻生商店街振興組合が設立された。

地下鉄、バス、JRと交通の要所であることから、飲食店やサービス業の店舗が集積し、現在でも、空き店舗が出て即出店が決まる状況だ。

これまで商店街は、高齢者支援のための「あさぶ応援団」をはじめ、地域の方々に街を楽しんでもらうため、周辺の農家や商店、団体などが集う「あさぶおすそわけマーケット」を開催するなど、日ごろから地域に根ざした活動を展開。また、

Facebookページも起ち上げ、タイムリーな情報を発信し続けている。

■ 藤女子大等とのコラボによる麻生キッチンりあんをオープン

「りあん」オープンのきっかけは、藤女子大学生達の「子どもの居場所づくり」を進めたいというアイデア。平成25年8月に、札幌市の補助金を活用し、麻生商店街と藤女子大が連携して空き店舗にコミュニティカフェ「藤麻人(トマント)」をオープンさせた。

以前から、ひとり親家庭の子ども達の学習支援



子ども達の夕食の様子

活動をNPO法人「カコタム」が行ってきっていたが、この活動に参加していた学生達が商店街と連携して、これを発展させることとなった。

「りあん」は店舗の総称。商店街が店舗を借り受け、藤女子大をはじめ各団体が使用料を支払って個々に事業を運営する方法だ。

昼は「藤麻人」をはじめ、4団体がワンデーシェフ方式により日替わりで運営。夜は、「カコタム」の学習支援や「バスまちコーヒーぱすとらる」などに利用されている。

他の空いている時間は、商店街主催の「まちの教室」(街ゼミ)や「お仕事Bar」などが連日開催され、利用者は地域の子どもの達をはじめ高齢者、主婦、勤め人と実に幅広い。

食育の様子



■ 食の楽しさ、大切さを伝えたい

藤女子大の「藤麻人」は月、火曜日に開店。カコタムは水曜日の夜と土曜日の昼に活動を行っており、学生達とNPOが連携して、学習支援と食育活動を行っている。その狙いは、みんなで「いただきます」をする、一緒に食べる(共食)機会を増やす、そして「食の楽しさ、大切さ」を伝えていくことだ。

また、「りあん」は今春からリニューアル移転を計画している。いつまでも地域で愛される「麻生キッチンりあん」に期待したい。

照会先
(運営主体等)

- 麻生商店街振興組合 (Tel 011-707-9923)
札幌市北区麻生町6丁目14-6 Facebook「あさぶ商店街」
- 藤女子大学人間生活学部食物栄養学科 (0133-74-7609)
石狩市花川南4条5丁目 Facebook「へるすたでい*藤麻人」